

令和2年度 第3回金谷区地域協議会

次 第

日時：令和2年7月22日(水)午後6時～
会場：福祉交流プラザ2階 第1会議室

1 開 会

2 議題等の確認

3 報告

(1) 令和2年度地域活動支援事業について 資料No.1

(2) 第3期金谷区地域協議会の活動状況について 資料No.2

4 議題

(1) 自主的審議に係る提案について 資料No.3

5 事務連絡

6 閉 会

令和2年度地域活動支援事業（金谷区）内定一覧

資料No.1

【金谷区】の地域活動支援事業補助金の予算配分額：850万円

順位 ※1	整理 No.	事業名	提案団体名	事業費 (千円)	補助 希望額 (千円)	審査・ 採点を行 った委員 数 ※2	基本審査		優先採択審査			共通審査						審査・採 点結果	採択額 (千円)	左記を踏まえた内定		
							「適合 する」 の人数	「適合 しない」 の人数	結果	「該当 する」 の人数	「該当 しない」 の人数	公益性	必要 性	実現 性	参加 性	発展 性	合計			平均 点	決定 区分	補助額 (千円)
1	6	里道(旧後谷線)の整備事業	後谷・名水桜清水の会	939	938	16	16	0	優先	15	1	72	66	70	67	65	340	21.3	採択	938	採択	938
2	3	正善寺ダム周辺の紫陽花の維持管理及び水質保全と環境美化事業	正善寺紫陽花会	102	102	15	15	0	優先	14	1	66	60	65	53	57	301	20.1	採択	102	採択	102
3	4	金谷山太鼓継承・振興事業	高田西小学校後援会	186	185	16	16	0	優先	15	1	70	63	68	56	63	320	20.0	採択	185	採択	185
4	1	滝寺自然公園整備と環境保全・保護活動事業	滝寺まちづくり協議会	320	312	15	15	0	優先	14	1	64	55	64	53	54	290	19.3	採択	312	採択	312
4	8	黒田小学校区活動における安全確保及び地域活性化事業	黒田小学校後援会	962	961	16	16	0	優先	14	2	64	62	63	60	59	308	19.3	採択	961	採択	961
6	2	滝寺古文書(古地図)製版及び滝寺砦古道の整備事業	滝寺歴史保存会	701	700	15	15	0	優先	13	2	61	59	60	51	56	287	19.1	採択	700	採択	700
7	7	金谷区飯支部の交通安全確保事業	上越交通安全協会飯支部	638	638	16	15	1	優先	14	2	64	57	59	53	51	284	17.8	採択	638	採択	638
8	5	金谷地区児童のスポーツ振興及び子供の健全育成を図る事業	上越南ミニバス教室	907	456	16	15	1	優先	13	3	50	45	53	46	48	242	15.1	採択	456	採択	456
合計				4,755	4,292															4,292		4,292

<提案事業に対する附帯意見> なし

※1:審査・採点を行った委員数が異なることから、全審査・採点者の合計点数を単純平均した”平均点”を基に順位を確定した。

※2:審査・採点を行った委員数は、審査当日の委員の出席状況により整理No.1～3が15人、整理No.4～8が16人。

内定件数	8件
予算残額	4,208千円

1. 会議開催回数

委員の任期 平成28年4月29日～令和2年4月28日

年度	総会議数	内訳：種類別（協議・報告回数）[延べ]				
		自主的 審議事項	地域課題の 洗い出し	諮問	地域活動 支援事業	行政からの 報告
平成28年度	11回	0	6	0	12	1
平成29年度	12回	7	14	0	14	0
平成30年度	12回	2	10	0	7	2
令和元年度	9回	2	6	0	7	4
合計	44回	11	36	0	40	7

2. 自主的審議事項

自主的審議事項は地域の課題などを議題に、地域協議会が自主的に話し合う案件のことをいいます。話し合いの結果、地域で対応できないものは、市政運営の中で実現を求めため、市に意見書という形で伝えることもできます。

【第3期の自主的審議事項】・・・3件

- (1)金谷区小学校区（特に黒田小学校区）における地域連携施設の設置
- (2)金谷地区公民館について
- (3)金谷区の観光・イベントについて
→詳細は別紙1参照

【地域課題として協議した主な事項（自主的審議事項以外）】・・・5件

- ア)地域の安全安心確保（不法投棄、交通安全など）（平成28年度～29年度に協議）
 - イ)他団体や他地域との連携（平成29年度～30年度に協議）
 - ウ)雨水排水対策（平成30年度に協議）
 - エ)防犯協会、交通安全協会の所管区域（令和元年度に協議）
 - オ)バス路線の再編（令和元年度に協議）
→詳細は別紙2参照

3. 諮問事項

諮問事項は、区内の重要な公共施設の設置・廃止などについて、市から意見を求められたとき、「住民生活にどのような影響があるか」という観点で話し合う案件のことをいいます。話し合いの結果は、市長へ回答することになっています。

【第3期の諮問事項】・・・0件

4. 地域活動支援事業の審査・採択

地域協議会は、課題解決に向け優先すべき事業等を協議して採択方針や審査方法を定め、提案された事業の審査・採択を行いました。

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予算	850万円	850万円	850万円	850万円
提案状況	5件(850万円)	15件(1,580万円)	13件(1,138万5千円)	17件(1,032万4千円)
採択結果	5件(850万円)	12件(850万円)	11件(850万円)	16件(850万円)

【採択方針や審査方法に関する主な協議経過】

- ・共通審査をよりの確に行うために、審査の参考資料として、共通審査の各審査項目にどのように合致しているかを提案者から記載してもらう自己評価票を新設（平成29年度から）
- ・共通審査における各審査項目の最低点を1点から0点に変更（平成29年度から）

5. 意見交換会

自主的審議事項などの議論の参考にするため、地域の各種団体や様々な年代の方を対象に意見交換会を実施しました。

実施年月日	参加者	テーマ	結果
平成29年 1月11日 1月18日	地域の子育て世代の人(のべ35人)	・地域の課題について	・参加者から出された意見を整理し、地域課題を抽出 →「金谷地区公民館について」の審議につなげた
平成30年 6月20日	地域団体(民生委員・児童委員、地区防犯協会など10団体17人)	・各団体から活動紹介 ・活動の中で感じている課題について	・地域団体の活動内容について把握することができた ・今後も必要に応じて地域団体と意見交換を行うことにした

6. 出張地域協議会

多くの方から会議の傍聴に来てもらい、地域協議会について知ってもらうほか、地域の方々が普段感じている問題点などを知るために、各町内の町内会館に出張して会議を開催しています。

開催年月日	会場	傍聴人
平成28年 10月26日	中ノ俣地区多目的研修センター	7人
11月26日	上正善寺集落開発センター	26人
平成29年 3月22日	上中田町内会館	20人
平成30年 7月25日	青木町内会館	8人
9月26日	滝寺集落開発センター	22人
11月28日	金谷町内会館	6人
令和元年 11月27日	飯公民館	11人



令和元年度飯公民館での出張地域協議会

7. 地域協議会だよりの発行

地域協議会の活動状況を地域の皆さんに広く周知するため、地域協議会だよりを発行し全戸配布しました。

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
発行回数	4回	4回	4回	4回

【令和元年度の主な掲載記事】

- (1)飯公民館で開催した出張地域協議会の結果
- (2)行政からの報告事項(金谷山スーパーボブスレーの営業日変更、公の施設の使用料改定など)
- (3)令和元年度地域活動支援事業の紹介

第3期の自主的審議事項について

別紙1

件名	地域の課題としたもの	課題解決に向け、考えた取組 (当初案)	主な成果・実績
(1)金谷区小学校区 (特に黒田小学校区)における地域連携施設の設置 (H29)	・黒田小学校の校舎内にコミュニティ活動等を行う多目的スペースが全くない	・地域内のふれあいを持てる施設の拡充について検討する	・施設等の必要性について委員間で協議 ・黒田小学校に地域と学校との連携を図るための施設やスペースを確保することを提案する意見書を市に提出 →(市の回答)施設等の確保は困難であり、既存施設の活用を検討してほしい
(2)金谷地区公民館について (H29)	・現在の金谷地区公民館は、金谷区外(寺町2丁目)にある、駐車場が狭いなど利便性が悪い	・金谷区の住民にとって利用しやすい公民館について検討する	・金谷地区公民館の現状と課題について整理 ・金谷地区公民館を山麓線沿線など金谷区の住民にとってより使いやすい場所に移転整備することを提案する意見書を市に提出 →(市の回答)公民館は、区内に相応しい市の施設がない場合は隣接区の施設活用も検討する方針で、これに従い地域の皆様等と協議の場を設けたい。
(3)金谷区の観光・イベントについて (H30～R1)	・金谷区は自然豊かでいろいろな観光資源があるが、十分に生かされていない	・地域全体で観光に関することをピックアップし、目玉になるものを見出す	・金谷区にある観光資源を整理 ・観光資源の有効活用を図るため、地域の見学スポットやイベントなどに関する情報発信を「金谷地域歴史を守る会」に提案 →令和元年度地域活動支援事業を活用して、「 <u>金谷地域歴史観光マップ</u> 」が完成

地域課題として協議した主な事項（自主的審議事項以外）

別紙 2

件名	現状	地域協議会での主な取組	協議結果
ア) 地域の安全安心確保 (H28～H29)	<ul style="list-style-type: none"> 林道難波線や正善寺ダムなどで不法投棄が多くある。 深夜まで営業する大型店が増えたため、周辺地域の治安悪化が懸念される。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の現状について委員間で情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> 金谷地区振興協議会などの団体に課題解決に向けた活動をしていることから、その状況を見守る
イ) 他団体との連携 (H29～H30)	<ul style="list-style-type: none"> 地域にどんな団体があり、どんな活動をしているのか把握できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域団体の洗い出し、委員間での情報共有 地域団体との意見交換 (H30. 6. 20 意見交換会) 	<ul style="list-style-type: none"> 意見交換の結果、各団体の活動状況を知ることができた 他の地域課題を協議していく中で、必要に応じて地域団体と連携していく
ウ) 雨水排水対策 (H30)	<ul style="list-style-type: none"> 大雨時に古川排水路から越水するなど、問題があると思われる箇所がいくつかある。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の現状について委員間で情報共有 地元町内会から現状を聞き取り 市担当課から市の施策について説明を受ける 	<ul style="list-style-type: none"> 市は問題のある箇所について対策を講じる方針であることから、今後の推移を見守る
エ) 防犯協会・交通安全協会の所管区域 (R1)	<ul style="list-style-type: none"> 飯小学校、高田西小学校、黒田小学校の校区と、防犯協会・交通安全協会の所管区域が一致していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の現状について委員間で情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> 高田西小学校区の金谷・神山町内会長から「灰塚地区防犯協会から飯地区防犯協会に所管を変更してほしい」との要望を受け、関係団体に所管区域の打診を打診 →次の総会をもって正式に変更が決定
オ) バス路線の再編 (R1)	<ul style="list-style-type: none"> 正善寺線、青田線、斐太線が再編（乗合タクシーなどへの変更）の対象になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 市担当課から市の施策について説明を受ける 地元町内会から現状を聞き取り (R1. 11. 27 出張地域協議会) 	<ul style="list-style-type: none"> 現時点では、路線バスから乗合タクシーに変わることについて、地元住民は仕方ないと考えていることから、今後の推移を見守る →次期委員に自主的審議事項に取り上げるよう申し送る

様式（委員用）

令和2年5月29日

金谷区地域協議会自主的審議に係る提案書

金谷区地域協議会
会長 村田 敏昭 様

提案者名 小林 雅史

下記事項について、上越市地域自治区の設置に関する条例第7条第1項の規定に基づき、審議するよう提案します。

記

審議する事項	金谷区の防災機能強化（避難所・装備・運営・人材等）
<p>内容</p> <p>※下記を参考に可能な範囲でご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案理由 ・課題の背景 ・課題の現状 ・今後の見通し ・地域、住民への影響 ・課題が生じている場所 ・期待する効果 等 	<p>1. 提案理由：近年、自然災害の発生頻度やその被害の深刻化は、これまでの常識をはるかに超えるものが多く、社会インフラの復旧に長時間を要する甚大な災害も少なくない。</p> <p>そのような背景の中、行政に対する防災機能強化の要望は高まる一方であるが、人材や費用面などから、即時に期待に応える対応は難しいのが実情であり、各町内会や地域防災組織などが、その機能を担う必要性も益々増大してきている。</p> <p>2. 課題の背景：上越市地域防災計画や、避難所マニュアルなどが示され、いざという時、我々がどう行動すべきか明確になってはいるが、各地の災害発生時の実情からは、避難所の開設に始まり、水道・トイレ・非常電源の確保など、様々な問題が表面化しているのもまた事実である。金谷区においても、10カ所の避難所が指定されており、各地域の防災訓練などにおいて使用され、周知されているが、上記の通り、様々な場面において、十分にその機能を果たせるものかは疑問も残り、地域として取り組むべき課題は多い。</p> <p>3. 課題の解決：今回提案するものは、金谷区でも、中核となるべく避難所を設定し、非常電源の確保・装備品の充実などを、金谷地区振興協議会が中心となり、地域支援事業として展開。実際の行動や様々なシミュレーションにより、更に高いレベルの実運用ノウハウの蓄積を目指したい。得られたノウハウを金谷区全域や、他の地域へも生かしたい。また、次世代を担う若者らが、主体的に行動する契機となれば、尚理想的かと。</p> <p style="text-align: center;"><u>町内会・住民・民間企業・消防団・自主防災組織・学校との連携</u></p> <p>※地理的な中核でなくとも、これまでの被害発生状況や地域の実情を踏まえ、テスト的に取り組み易いエリアを設定する。</p> <p>4. 地域・住民：避難所に指定されている施設は、学校などである場合が多く、当然、地域と学校・生徒との関わりは深い。この点を生かし、ボランティア体制の構築や、学校行事との連携、防災備蓄品の有効活用など、備蓄品を無駄にせず、循環させる取り組みも考えられる。行政だけに頼らず、『地域一体となって作り上げる防災』という意識を更に高める契機とするのが最大の目的。</p>

※本提案書は、審議の開始を希望する地域協議会開催予定日の 14 日前までにまちづくりセンターに提出してください。なお、緊急を要する事項の場合は、センターにご相談ください。



金谷区地域協議会自主的審議に係る提案書

金谷区地域協議会
会長 村田 敏昭 様

提案者名 小林 雅史

下記事項について、上越市地域自治区の設置に関する条例第7条第1項の規定に基づき、審議するよう提案します。

記

<p>審議する事項</p>	<p>林道難波線 不法投棄物回収ボランティア</p>
<p>内容</p> <p>※下記を参考に可能な範囲でご記入ください。 ・提案理由 ・課題の背景 ・課題の現状 ・今後の見通し ・地域、住民への影響 ・課題が生じている場所 ・期待する効果 等</p>	<p>1. 提案理由：ここ数年、ボランティアの一員として、不法投棄物の回収に参加させて頂いております。10年以上も経過しているであろう埋まりかけた投棄物から、明らかに最近捨てられた生活ゴミまで。また、通行車からのポイ捨てとおぼしきゴミから、トラックで大量に捨てた痕跡など様々でした。活動の中で気付くのは、若者があまり参加していない実情です。不法投棄が無くなり、このような活動が不要になるのが理想かと思いますが、これまで、諸先輩方が継続されてきた活動を、人材難によって、停止させることになるとすれば、非常に残念な事です。</p> <p>2. 課題の解決：自然豊かな南場山に続くこの林道を美しく保つ為、金谷区の小学校などに呼び掛け、啓発ポスターを作製。しっかりとした看板を作り、要所に取り付ける。一連の活動を、金谷地区振興協議会の地域支援事業とする。 各校内でコンテストをするもよし。共同制作するもよし。 夏休みの課題と自由課題とよし。</p> <p>上り線：不法投棄しないで 的な呼びかけ 地域のボランティアが活動しています写真</p> <p>下り線：きれいな南葉山にまたきてね 的な呼びかけ</p> <p>子ども達の活動を取り込む事で、地域・保護者にも関心を持ってもらえる効果大</p> <p>ゆくゆくは、安全面など十分に配慮した上で、高校生などにも協力してもらえれば更に力強い。</p> <p>将来への人材育成、更に学校・学生の社会参加・社会貢献という意義も大きいかと。 ※運営サイドとしての参加も有益かと。</p>

※本提案書は、審議の開始を希望する地域協議会開催予定日の 14 日前までにまちづくりセンターに提出してください。なお、緊急を要する事項の場合は、センターにご相談ください。



金谷区地域協議会自主的審議に係る提案書

金谷区地域協議会
会長 村田 敏昭 様

提案者名 小林 雅史

下記事項について、上越市地域自治区の設置に関する条例第7条第1項の規定に基づき、審議するよう提案します。

記

審議する事項	地域支援事業と楽器購入
<p style="text-align: center;">内 容</p> <p>※下記を参考に可能な範囲でご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案理由 ・課題の背景 ・課題の現状 ・今後の見通し ・地域、住民への影響 ・課題が生じている場所 ・期待する効果 等 	<p>1. 提案理由：これまで、地域支援事業として、小学校・中学校単位での楽器購入などが行われた実績がいくつかある。小学校における金管楽器等の使用は、部活動のみでなく、学年・学校全体に及ぶ活動もあり、地域活動との関わりも深い事などがその理由と思われる。中学校においては、部活動としての関わりが主となり、生徒全体に寄与するとは言い難い面もあるが、地域協議会の判断によっては、支援している実績もいくつかある。全ての地域協議会が同じ判断を下している訳ではなく、不公平ではないかとの声があるのもまた事実である。</p> <p>2. 課題の背景：中学校の部活動で使用する楽器に関しては、どの学校もメンテナンス費用や、不足している楽器の工面に苦勞されています。部員が自費で賄う面もありますが、当然限界があり、それら費用面より、吹奏楽部をあきらめるとい話もあります。しかし、数ある部活動の中で、吹奏楽部のみを特別に扱う事も難しく、これまでも、後援会組織や、周年事業での寄付金などで支えて頂いてきた面が大きいかと。中学校の場合、全日本吹奏楽コンクールに出場するのを目標に活動している学校がほとんどで、言い換えれば、県内の中学校は全てがライバルとなります。楽器の良し悪しや、メンテナンスで、音色は極端に変わるものがあり、一部の地域のみが、地域支援事業でサポートを受けるのは、やはり不公平感が強いのかとも思います。</p> <p>3. 課題の解決：①市に対しては、部活動に対する予算の拡充をお願い致します。②中学校の楽器購入に関し、各地区共通のガイドラインを作成すべきかと考えます。それを踏まえた上で、最終判断は地域協議会に任せるのもありかと。③ふるさと納税に『母校部活動支援』を追加し、積極的に展開する。各中学校とも数十年以上の歴史があり、ふるさとを離れてはいるが、母校の力になりたいと考えている卒業生は少なくないかと。母校の近況を広く発信すると共に、母校支援の輪を広げていくべきかと考えます。</p>

※本提案書は、審議の開始を希望する地域協議会開催予定日の 14 日前までにまちづくりセンターに提出してください。なお、緊急を要する事項の場合は、センターにご相談ください。

